

日時：平成24年7月30日（月）午後1時～午後2時

於：四條畷市役所 東別館2階 201会議室

四條畷市次世代育成支援地域後期行動計画「なわて子どもプラン」  
平成24年度推進施策について

<出席委員> 小寺委員長、福永委員、前原委員、柴原委員、藤原委員、佐木委員、山上委員、今西委員、村上委員、北川委員、守屋委員、小野委員、平山委員、福田委員、矢田委員、大滝委員、原委員、四宮委員（順不同）

<案件>

1. 目標事業量の説明
2. 施策の推進方策
3. 主要プロジェクト
  - (1) 待機児童の解消
  - (4) 福祉と教育の連携

<審議の内容>

(委員) 虐待について

- ・虐待件数はどれだけあるか。
- ・市の広報に事例を載せられないのか。
- ・抽象化して事例を載せると市民に理解しやすいと思う。
- ・方法（具体的な内容）を載せてはどうか。

(事務局)

虐待についての事例を掲載するのは、人権等に関する内容ですので非常に難しい面がありますが、市民に理解してもらう事が重要だということも踏まえまして、虐待を分かりやすいかたちで検討していきたいと思えます。

(委員) 待機児童について

- ・保育所の定員をオーバーして入所できるといった弾力化は国の指定なのか、又、弾力化が精いっぱい行われているのか。
- 弾力化がされてもまだ待機児がでているのか。

(事務局)

弾力化については国の基準があり、120%は超えないようにという事で弾力化を実施している。

待機児童については、現在64人の待機児がいるが、障がい児保育が増えてきていることもあり、障がい児加配の職員を雇用するのが難しいといったこともあります。

(委員) 病児保育について

- ・平成25年に病児保育が実施できることについてはぜひともやっていただきたい。利便性があり、やっていただくと保護者にとっては非常に助かる。
- ・病児保育は、定員が何人か。
- ・場所が交差点の近くだが、送迎等で混雑するということはないか。

(事務局)

長年の懸案でありました病児保育が保育所の中で実施できることになり、大阪府でも初めての取り組みとなります。

病児保育の定員は6人としており、四條畷市の子どもだけでなく、近隣市の方も利用できます。

(1階が小児クリニック、病児保育室) (2階が0歳、1歳、調理室)  
(3階が2歳、3歳、一時保育室、ホール) (4階が4歳、5歳)  
(屋上が園庭) となっています。

駅近くという事で非常に便利な場所ですし、交差点の近くですが、保護者用の駐車場及び診察用の駐車場が完備されることになっています。

(委員) 少子化について

- ・毎年、子どもの数が減少しているが、子どもを増やす問題を四條畷としてどう考え、どうやって増やすようにしているのか。

(事務局)

平成24年度の四條畷市の予算編成では、教育・子育て支援を中心に力を注いでいきたいとしており、なわて子どもプランは「少子化対策推進法」に基づき、子育て支援等に取り組んでいるところです。

(委員) 子ども施策の方向性について

- ・国では、「子ども・子育て新システム」の検討が行われているが、例えば、0歳1歳2歳は保育所で保育を行い、3歳4歳5歳は幼稚園で教育を受けるといった、特区などの考えはないのか。

(事務局)

現在、国においては、総合こども園といった幼保の一体化に向けた検討が行われていますが、幼稚園は現状のままでということが言われていますことから、幼保の一体化はスムーズに行かないようですが、提案をいただきました0歳1歳2歳が保育所で保育を行い、3歳4歳5歳が幼稚園で教育を行うといった方法はすっきりしています。

今後、国の動向などを注視しつつ、子育てに関するニーズ調査や研究等を行いまして、本市の包括的な子育て支援策の改革に向けた検討を行っていきたいと考えております。

(委員)

こども施策についてはよく頑張っておられると思います。

終了